

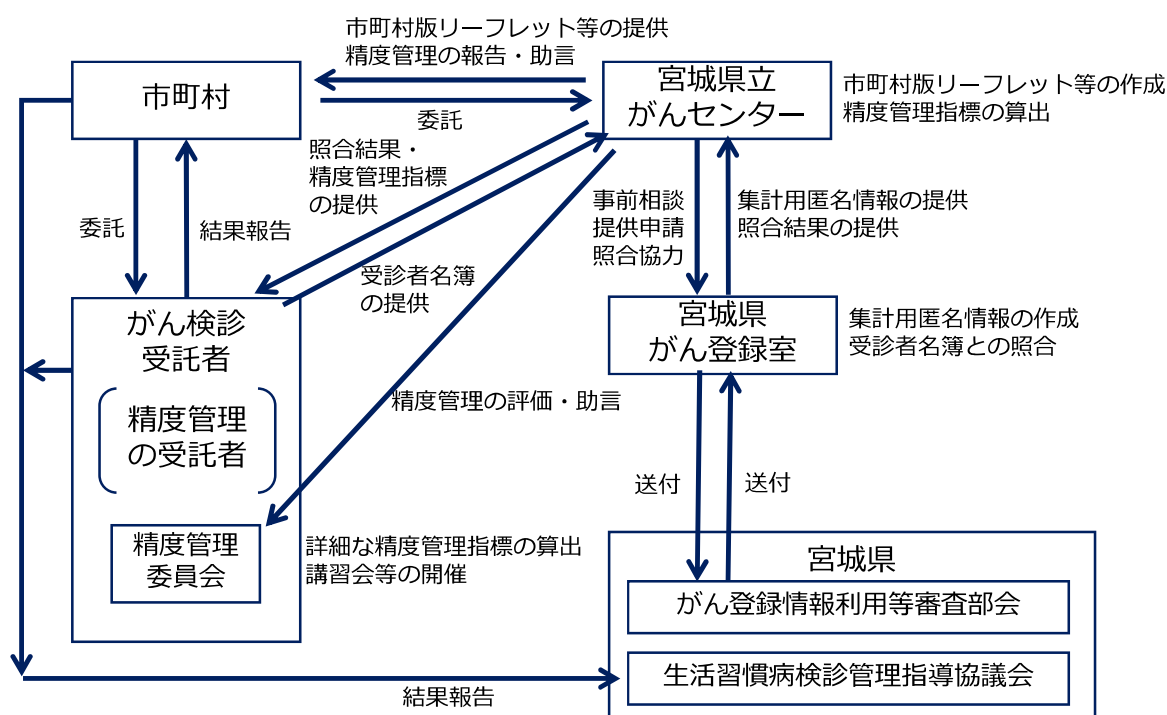
# 令和7年度 がん登録情報を活用したがん検診精度管理 進捗状況

宮城県立がんセンター研究所  
がん疫学・予防研究部 部長  
(兼) 宮城県がん登録室長  
金村 政輝

[seiki.kanemura.b1@tohoku.ac.jp](mailto:seiki.kanemura.b1@tohoku.ac.jp)

## 宮城県のモデル事業の概要

新・宮城方式（県内全市町村へのがん情報の提供によるがん対策の推進）

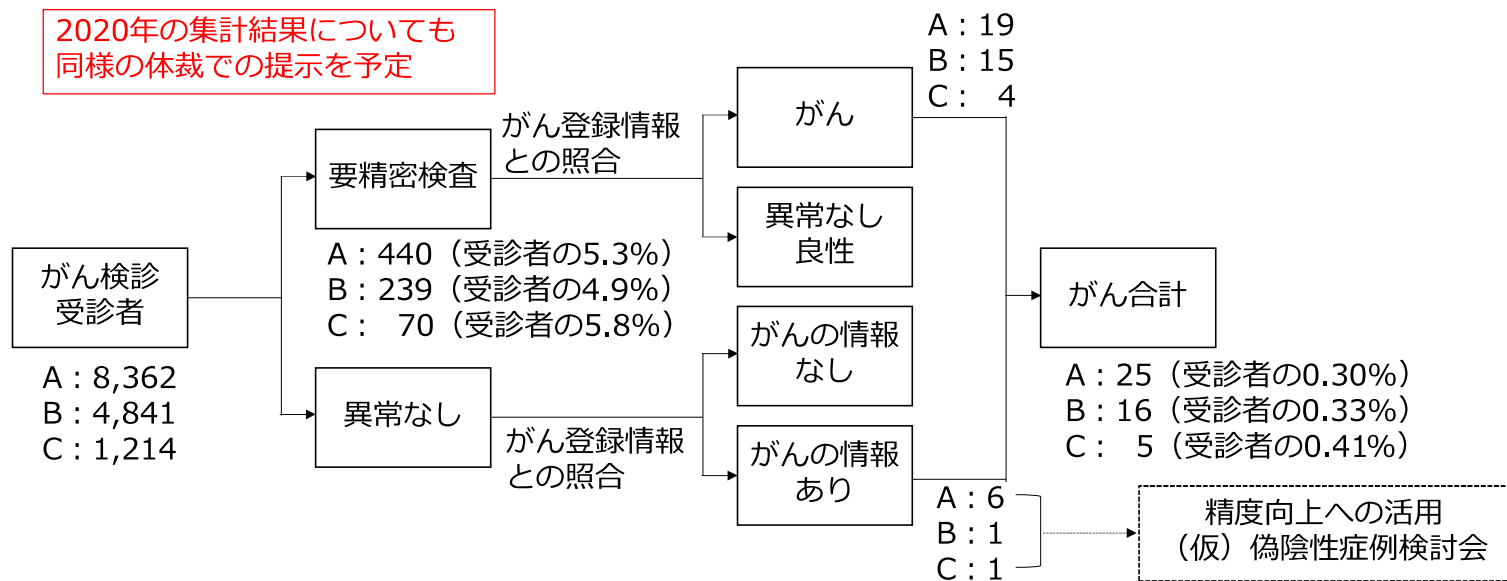


## 令和7年度のモデル事業

- ・令和6年度と同じ8市町で実施（委託契約・無料のモデル事業）
- ・うち、がん検診の精度管理は、1市1町増え、3市2町で実施
- ・部位は2部位増加し、胃、大腸、肺、乳房、子宮の全部位で実施（乳房、子宮について今回新たに実施）
- ・現在、集計作業を終え、委託元の市町村への報告、がん検診精度管理専門委員会での検討の準備中
- ・以上が終了し次第、結果について、県の会議（当部会、宮城県肺がん対策協議会）、厚労科研の研究班へ報告予定

3

### 令和6年度の照合結果のまとめ（2019年:胃がん）



感度 = 要精密検査/がん合計	偽陰性率 = 異常なし/がん合計	特異度 = 異常なし/がん以外の合計	偽陽性率 = 要精密検査/がん以外の合計
A : 76.0%	A : 24.0%	A : 95.0%	A : 5.0%
B : 93.8%	B : 6.3%	B : 95.4%	B : 4.6%
C : 80.0%	C : 20.0%	C : 94.5%	C : 5.5%

4

## 宮城県立がんセンター がん検診精度管理専門委員会の開催

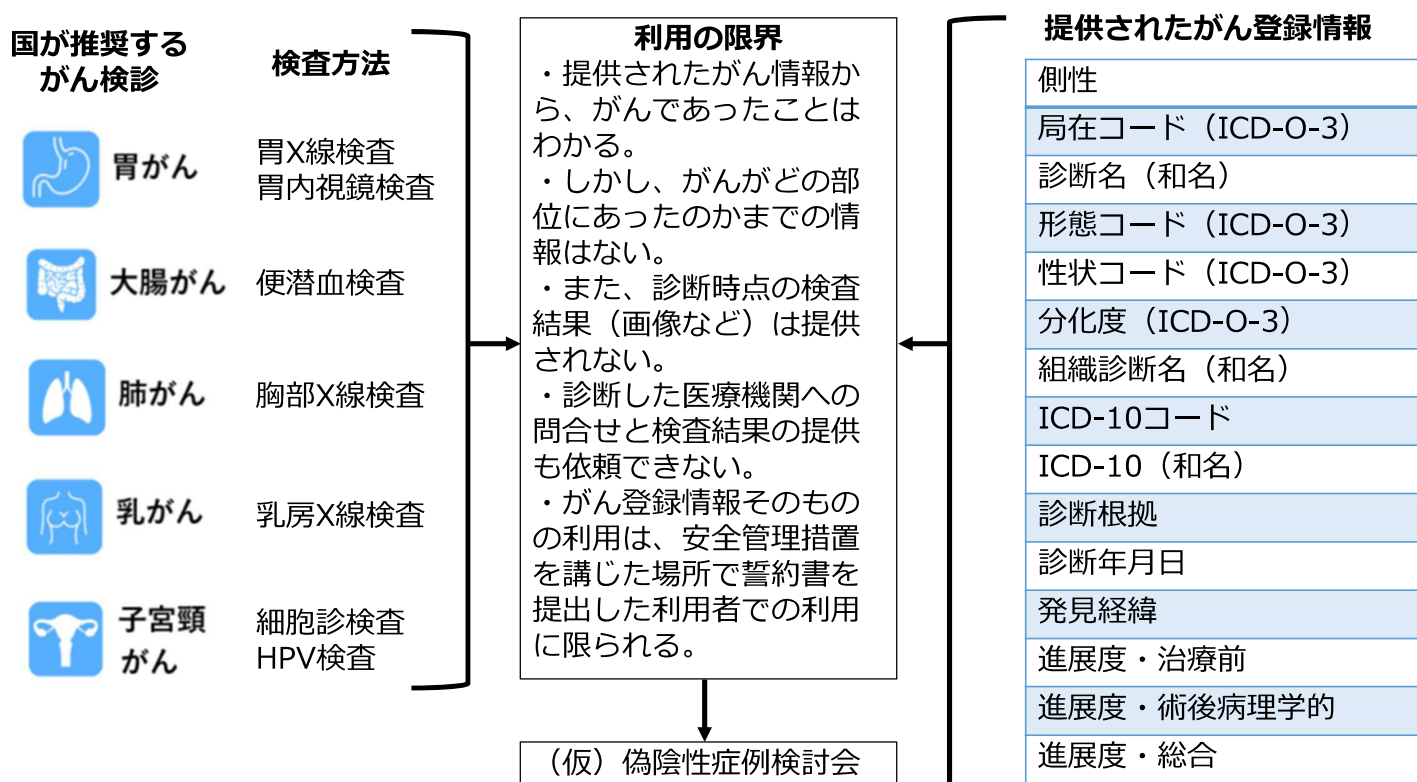
部位	委員氏名	所属・職名
胃がん	加藤 勝章	公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター 所長
	小池 智幸*	東北大学病院 消化器内科 准教授・副科長
大腸がん	加藤 勝章*	公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター 所長
	志賀 永嗣*	東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野 助教
	只野 敏浩	公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター 消化器担当医長
肺がん	齋藤 泰紀	公益財団法人宮城県結核予防会 副理事長
	佐川 元保*	東北医科薬科大学 呼吸器外科 客員教授・名誉教授
	桜田 晃*	みやぎ県南中核病院 呼吸器外科 主任部長

\*宮城県生活習慣病検診管理指導協議会 がん部会委員

R7年度は、乳がんと子宮がんについても、新たに委員を委嘱し、委員会を開催する予定

5

## がん登録情報の照合結果の精度向上への活用



6